

これからの安全保障について

—今後の研究方向性を発表—

社会学類 川上真生



原爆ドーム（発表者撮影）

0 研究の目的

「戦争や紛争などの人為的な要因で命を落とすことがない世界へ」

⇒安全保障の観点から実現への道を探りたい

○具体的なテーマ

「核兵器と安全保障」

核兵器は、一度に多くの人を殺めるだけでなく生き残った人を死ぬまで苦しめる。核兵器をめぐる安全保障は、正当化しえるのか。

そもそも安全保障は、国家同士の相互作用の積み重ねである。ある国が十分に安全と感じる状況は、別の国にとっては安全が不足していると感じる状況かもしれない。（中略）国家の関係においては、相互作用が鎖のように連なって展開しているものであることを十分認識した上で、安全保障は論じていかなければならない。（秋山・高橋 2019：p.4）

⇒安全保障の「相互作用」を考えた上での「核廃絶」を考える

1 これまでの経歴

・小・中・高で平和教育を経験

・高校時代には新聞部に所属
→平和に関連する多くの取材を経験

Cf. ・被爆建物→原爆ドーム、旧陸軍被服支廠

・被爆体験

・映画→「ヒロシマへの誓い～サーロー節子とともに～
「この世界の片隅に」

・赤十字国際委員会

・核兵器禁止条約発効

⇒受動的な取り組みから能動的な取り組みへ
核兵器や平和について考えるように



崇徳学園新聞 236号

2 核兵器をめぐる 過去→現在→未来

核抑止をめぐる歴史（抜粋）

1945年 広島、長崎に人類史上初めて原爆が投下される

第二次世界大戦終結→冷戦へ

1950年代 各国が相次いで核兵器を保有

1962年 キューバ危機

1991年 冷戦終結

2022年 ロシアがウクライナへ侵攻
プーチン大統領 核抑止部隊に「特別警戒」命令

「冷戦期の限定核戦争論は、人類絶滅に至るような全面核戦争にエスカレートさせない形態での核兵器の使用をめぐるものであった。しかしながら、冷戦が終結し、グローバルな米ソのイデオロギー対立が終焉したことで、地域的な安全保障問題とグローバルな超大国同士の対立を結ぶエスカレーション・ラダーは切断され、限定核戦争が生じたとしても、それが人類絶滅をもたらすような全面核戦争にエスカレートする可能性は極めて低くなった。それが逆に、限定核戦争の可能性を高めているとの問題意識から、現在の議論は行われているのである」（同：p.6）

⇒・冷戦終結によって限定核戦争の可能性が高まる
・ロシアのウクライナ侵攻によって全面核戦争の脅威も高まる

核廃絶をめぐる歴史（抜粋）

1970年 核拡散防止条約（NPT）発効
・核兵器国（米、英、仏、中）の核軍縮義務
・非核兵器国が新たに核兵器を持つことを禁止
・原子力の平和利用を「奪いえない権利」

1988年 中距離核戦力（INF）全廃条約 発効
・米ソ間で核兵器の削減に初めて合意

1996年 国際司法裁判所が核兵器の使用は国際法に違反するとの勧告的意見
・核兵器の使用または威嚇は国際人道法に反している
・「国家の存亡に関わる自衛の極限状態」においては判断できない

2011年 新戦略兵器削減条約（新START）発効
・米ロ間による核軍縮の枠組み

2021年 核兵器禁止条約（TPNW）発効
・核兵器を非人道兵器として全面的に禁止

このように二国間のもの、世界的な条約などさまざまな形で規制

⇒・核兵器禁止条約の発効により核兵器を持っていること自体が国際法に照らし合わせて違法に
・国家間の軍事バランスから語られてきた核兵器の議論に人道的なアプローチが登場

3 核兵器をめぐる 過去→現在→未来

核兵器国の核兵器禁止条約に対する見方

「核兵器禁止条約は、現実の国際安全保障を考慮していない。そしてNPT体制を傷つけ、国際社会を分断するものだ。核兵器国としてはこの条約を支持しないし、この条約には縛られない」（川崎2021：p.36）

核廃絶・核軍縮推進側の今後の取り組み

「まずは強力禁止規範を確立することを先行させ、実際の核廃棄とその検証は長期的に取り組む」（同：p.34）

Cf 対人地雷やクラスター爆弾が条約で禁止されたことにより、生産、取引、使用は世界的に激減

→核兵器の禁止規範を浸透させ、民間から核廃絶の動きを促進

⇒今後、安全保障と核兵器禁止条約の親和性が課題に

4 今後の研究アプローチ

NPT上の核兵器国
（米、ロ、英、仏、中）

NPT外の4カ国
（インド、パキスタン、
イスラエル、北朝鮮）

核兵器に代わるリスクの少ない兵器
による安全保障の維持を模索

地域間の対立と限定核戦争のリスク
を考える

5カ国が同時に核兵器を廃絶できる
ような国際的な取り決めを模索

地域ごとに核廃絶の道筋を研究

核廃絶への道筋の確立へ

↑
核兵器禁止条約に準拠した、核兵器の非人道性の周知

参考文献
秋山信将・高橋杉雄（2019）『「核の忘却」の終わり』、勁草書房
川崎哲（2021）『核兵器禁止から廃絶へ』、岩波書店